

【例題－獣医師6】

魚介類の毒に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. テトロドトキシンを持つ生物はフグ以外にも存在するが、我が国ではフグ以外を原因としたテトロドトキシン食中毒は発生していない。
2. シガテラ毒による食中毒に特異的な症状として、ドライアイス・センセーションと呼ばれる冷温感覚異常がある。
3. 大型の深海魚であるバラムツやアブラソコムツは、肝臓に多量のテトラミンを含んでおり、食中毒の原因となることがある。
4. 麻痺性貝毒は多成分からなり、サキシトキシン、ペクテノトキシン、マイトトキシン等が含まれる。
5. 記憶喪失性貝毒の毒性成分は、藍藻類が産生するミクロシスチンである。

(正答) 2